

第23回 下野市行政改革推進委員会 会議録

日 時 平成25年1月22日(火) 午後1時30分～3時00分
場 所 下野市国分寺庁舎304会議室
出席委員 杉原弘修会長、飯島陽子委員、関口博之委員、吉田良一委員、飯野洋委員、
水上美紀委員、長光博委員、大木徳委員、園部小由利委員、中林佳子委員
行革推進 広瀬市長、板橋副市長、川端総合政策部長、篠崎総務部長、伊澤市民生活
本部会員 部長、蓬田健康福祉部長、落合産業振興部長、大門建設水道部長、鶴見教
育次長
欠 席 者 古口教育長
事 務 局 塚原総合政策課長、星野主幹兼課長補佐、山内主幹、古口主査
会議の公開・非公開 公開
傍 聴 者 1名

○次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 会議録署名人の指名
 - (2) 第21～22回行政改革推進委員会会議録の確認
 - (3) 平成24年度行政評価市民評価報告書(案)について
- 4 平成24年度行政評価市民評価報告書の提出
- 5 市長との意見交換会
- 6 その他
- 7 閉 会

1 開 会

2 あいさつ

(総合政策課長) 開会に当たりまして、杉原会長からごあいさつを頂戴し、議事の進行は杉原会長にお願いします。

(杉原会長) 第23回の委員会になりました。昨年11月から行政評価市民評価をしてきまして、報告書作成までできました。今日は、報告書の提出の後、市長との意見交換があります。今年度最後の委員会ということになりますので、よろしく協議の方をお願いします。

3 議 事

(1) 会議録署名人の指名

(杉原会長) 今回の会議録署名人を指名します。名簿順で、今回は、関口委員と吉田委員にお願いします。

(2) 第21～22回行政改革推進委員会会議録の確認

〔事務局からの説明〕

(事務局) 第21回及び22回までの会議録(案)について、委員に送付し内容を確認してもらい、訂正の報告をいただいた個所を修正したものです。訂正個所は、太字下線付きで表示していますので、再度ご確認ください。(訂正個所の読み上げ)

(杉原会長) 今日改めて気づいた点とかがありましたらご発言ください。特にないようでしたら、これで会議録は決定とします。

(3) 平成24年度行政評価市民評価報告書(案)について

(杉原会長) 行政評価市民評価報告書について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 1ページから7ページまでは、前回提示してありますが、評価以外の内容において一部修正したいと思います。修正内容の新旧対照表をご覧ください。

1ページ目の「1 はじめに」の4行目にあります30事業から10事業に変更したことについての記述の後に、行政側が行っていた事業の選定を、市民サイドすなわち委員が選定するように変更したことを付け加えました。また、4ページと7ページの表中にあります「事業内容を見直す事業」と表現していたものを、「事業内容を見直しながら実施する事業」という表現に統一しました。

8ページからの事業別の評価結果は、委員の皆さんからの意見を集約して「評価内容」を記載しました。「その他の個別意見」及び「反対意見」は、委員の皆さんから出された意見から、同じようなものは集約し、また、事業仕分け的な意見になってしまっているもの及び只の質問になってしまっているもの等を削除するなど取捨選択して、簡潔に記載しましたが、原則的に個人の意見をそのまま載せるようにしました。

(杉原会長) 説明が終わりましたので、1ページから順に見ていきます。1ページ目で何か意見がありますでしょうか。

(大木委員) 1ページ10行目「地域の課題は地域が主体的に考えて決めることが重要であり」とあるが、「決める」は誰が何を決めることを指すのですか。「課題を解決する」ことなのか「課題を設定する」ことなのかということですか。

(杉原会長) 「決める」はここでは「設定する」の意味で、「課題を決める」ことを指します。「課題を解決する」という意味ではありません。表現を変え

た方がよろしいでしょうか。

(大木委員) 表現の仕方なのですが、「少しずつ改善しながら継続的に取り組むことで」とありますが、継続的に取り組むのは「改善すること」を指すのですか。

(水上委員) 「行政は」が主語なので、「課題」を指すのではないのでしょうか。

(杉原会長) 何が対象か不明確であるならば、目的語を入れる方法もあるが、明確な目的語が無くても、目的は分かると思います。あるいは、主語を「行政が」と入れても良いでしょう。

(大木委員) 報告書は市民が読むのだから、分かりやすくしたいと思います。

(水上委員) 2箇所とも入れた方が分かりやすいのではないのでしょうか。

(杉原会長) 目的語と主語を明確にするように、「諸課題を」「行政が」を入れて、「少しずつ改善しながら、諸課題を行政が継続的に取り組むことで」と改めます。

ほかにありますか。1ページから7ページまではよろしいでしょうか。8ページからは事業別の評価結果になりますが、事前に資料を配付してありましたので、ここでの読み上げはしません。

8ページの地域情報化推進事業は、何かありますか。無ければ9ページのごみ減量化事業はいかがですか。

(大木委員) 9ページのその他の個別意見に「報奨金を5円から4円にしたのを経費削減と評価しているのは、効率性が良くなっているわけではないと思う」というのは、何か言葉を足さないと、読む人に伝わらないのかなと思いました。

(関口委員) ごみ回収の報奨金が減額したわけだから、それを評価するのはおかしく、効率性が良くなったわけではないと思うので出した意見です。

(杉原会長) これは個別意見なので、個人の意見・表現をなるべく変えないで、委員の生の声を載せたいと思います。読む人それぞれで感じ方が違ってきますので、委員の出した考えをそのまま伝えたいと思います。

8ページから9ページはよろしいでしょうか。次10ページから11ページのふれあい館管理事業ですが、表現などはこれでよろしいでしょうか。委員の出した意見がそのままですので、文の語尾はあまり変えていませんので、表現は統一されていません。その方が、読む人が臨場感を得られます。

(関口委員) 今日配られた3館利用状況の集計表を見ると、ふれあい館の風呂の維持費が異常に高いと思います。また、利用人数ですが、風呂、カラオケ、マッサージとも利用する人がかなりダブっていると思われるので、そのまま合計するのはあまり意味が無いと思います。

(事務局) 次回の資料作成の際に気を付けるよう、注意事項として担当課に申し送りします。

- (杉原会長) 他になければ、12ページのふれあい館改修事業について何かありますか。
- (飯島委員) 評価内容の2段目にある「水泳と運動に特化したフィットネス施設」とするのはふれあい館でしょうか。
- (杉原会長) これはふれあい館のことですから、分かりやすく「ふれあい館を」と追加したいと思います。
- (園部委員) 利用状況の表を見ると、何年度から何年度に何人とありますが、3館が、どれだけどこに必要なかを表していると思います。項目ごとに3館を比較できた方がよいと思いました。
- (事務局) 今出ている意見につきましては、担当課に伝えます。
- (杉原会長) 13ページのグリム保育園事業は何かありますか。無ければ、14ページの生涯学習情報センター管理運営事業、15ページのグリムの森等管理委託事業は如何でしょうか。
- (関口委員) 15ページのその他の個別意見の2つ目にある「有功」は「有効」の間違いだと思いますが、この文章は無かったように思います。
- (杉原委員) この意見はありました。よろしいでしょうか。次、16ページ保健体育総務事務事業、17ページ地域振興交流施設指定管理運営事業は何かありますか。
- (関口委員) 17ページのその他の個別意見の1つ目ですが、2年目での増設工事が早過ぎるというのはよいとして、また金を使うことがいけないというのではなく、ジャストインタイムでやるのがよいので、利益から出すべきだと思います。
- (飯島委員) 私も同じ意見を出しています。二つの意見が合体しているようです。
- (関口委員) この増設工事は必要性を感じられませんでした。「また、このような施設は利益の中で考えるべきではないか」と追加してもらいたいです。
- (杉原会長) それではそのように追加することでよろしいでしょうか。では、ほかになければ、18ページ公園の維持管理事業に行きますが、事業名の「管路」は「管理」の間違いですので訂正してください。
- 他に何かありますか。無いようでしたら、最後の19ページです。来年度以降の行政評価を運用するにあたっての改善に向けた個別の意見を載せてありますが、何かさらに意見がありましたらお願いします。
- (吉田委員) ヒアリング評価シートについての意見を出しましたが、評価の考え方に認識の違いがあったようでしたので、これは削除してもよいと思います。この報告書の2ページの市民評価の目的と役割の項目に「すべての事務事業の中から選定・抽出された一部の事務事業について、庁内評価が妥当か妥当でないかを評価する」とあるので、妥当である、妥当でないという表現は、残してもよいと思い直しました。

(杉原会長) それでは、ヒアリング評価シートについての意見は、削除します。ほかに意見はありませんか。精査する時間が少なく大変だったかと思いますが、これで事業毎の審議は終了します。報告書全体について、何か意見はありますか。よろしいでしょうか。
それでは、今いくつか出た意見を修正・追加し、報告書を市長に提出します。ここで5分休憩をはさみます。

[休 憩]

4 平成24年度下野市行政評価市民評価報告書の提出

(総合政策課長) 委員会を再開します。次第の4、行政評価市民評価報告書の提出になります。杉原会長より広瀬市長に報告書を提出していただきますので、市長は前の方をお願いします。

[報告書の提出]

5 市長との意見交換

(総合政策課長) 続きまして次第の5、市長との意見交換になりますが、ここで広瀬市長よりあいさつを申し上げます。

(広瀬市長) 今、行政評価市民評価報告書をいただきました。今年から評価する事業を30事業から10事業にして、一つひとつじっくり評価していただいたわけですが、市側が手前味噌な評価をしていないか、様々な評価を経て事業遂行をしていきたいと考えています。市民の皆さんの生の声を聴いて、改善していきます。市民がなぜと思うということは、行政のPR不足であると思います。将来に向けて、市民にやってよかったと思われる施策を実施していきたいと思います。これからも、皆さんの意見や指摘を真摯に受け止めていきたいと思います。

(総合政策課長) 意見交換に入りますが、市民評価のほか、行政改革についても意見交換をよろしくお願ひしたいと思います。意見交換の進行は、杉原会長をお願いします。

(杉原会長) では、委員に一人ずつ一言発言をお願いしたいと思います。

(飯島委員) 下野市では事業毎に予算を組んでいます。メリットもありますが、デメリットもあると思います。デメリットは、ほかの事業との連携だと思っています。どのように予算を取り、どのように人を動かすか、もう少し考えていただければと思いました。うまくいけば、余計なお金が出ることもなく、経費節減になると思います。

(関口委員) ふれあい館・きらら館・ゆうゆう館や道の駅、グリムの森などは、目的があって設備投資をして委託業務や各種事業をしているが、それら

- の次は、当初の投資を回収しなくてはならないと思います。一步でも黒字化するという目標で事業をやらないと、お金が出るばかりです。
- (吉田委員) 初めて委員になりました。一言に評価といってもかなり難しいが、評価することの難しさを感じました。財務上での評価だったり、実際に事業に関わって評価するなど立場によって違いはあるが、それらの難しさを実感しました。
- (飯野委員) 10事業それぞれを単独で評価するのは難しいと思います。いろいろな事業に可能性があるが、評価するのに資料不足で、市がやろうとしていることとは違う意見が出る可能性が大です。総合政策課が、市の事業を相対的に見て、どういう方向でやっていくのか、市民にもっと公表してほしいと思いました。
- (水上委員) 素人目線で見ると、事業の全体像が見えにくいと思いました。素人目にも分かりやすい資料がほしいです。そのうえでヒアリングをしたいと思います。
- 主婦目線と言わせてもらおうと、少子化対策が重要と思われるのに、ふれあい館に多額の予算をかけている割に、保育や公園などにかかる予算が少なすぎます。
- (大木委員) 今回、公募で参加しました。事業に目玉的なものがほしいと思いました。下野市をもっとPRできる事業がほしいと感じます。
- (園部委員) ふれあい館の費用がかなりかかっている、気になります。もう少し、子ども対策に回してほしいと思います。バランスが悪いと感じました。資料についても、ふれあい館、きらら館、ゆうゆう館の比較表は、より分かりやすいものの表示を求めます。
- (中林委員) 評価するというと悪いところを見つけるイメージがあります。できるだけ事業のよいところを見つけたかったのですが、なかなかそうはなりません。
- 一つ有意義だったのが、下野市が、一つひとつ細かく行政が携わっているのが分かったことです。今後は、有効に予算を使ってもらえればと思います。
- (広瀬市長) 系列的な全体像が分からないと評価ができません。我々の広報不足が大きいと思います。今年から10事業になりましたが、上手に説明できたか疑問です。趣旨のところにありましたが、使えるところが決まっているお金が多くあります。ふれあい館は大きい予算ですが、まちづくり交付金事業を活用しており、まちづくりと一体化して実施する事業です。
- 嬉しいのは、委員の皆さんが、いろいろな事業を知ろうとしてくれたことです。総合計画に基づいて、ハードに対してどのようなソフト事業を実施していくか、どのようにしていくかを考えていくことが重要

だと考えています。

下野市を会社と見立てると、黒字とは何かと考えたとき、それは市民の満足度であるとするべきかと思います。どこに指標を持っていくか、よく考えて事業を実施していきたいと考えています。

少ない情報の中で事業を評価することは、大変だったことと思います。私としても迷うところがありますので、決して突き放すことなく、委員の皆さんには見守っていてほしいと思います。メールでもなんでも結構ですので、意見をください。

(杉原会長) ありがとうございました。

[広瀬市長退席]

(杉原会長) 他に何か意見等ありましたらどうぞ。

(水上委員) 道の駅で倉庫を増設するということですが、時期尚早ではないかと思えます。市民全体に還元させる施設であるとすれば、増改築をするのは早いのではないのでしょうか。市の自由裁量政策で使えるお金を、もっと子育て支援に使ってほしいと思います。

(落合部長) 時期尚早との意見が出るのも分かりますが、他の事業との関連もあります。道の駅は、防災の拠点としても整備中でして、上物（建物）は国が造りますが、土地の造成などは市がやります。今回の倉庫増設工事は、防災倉庫としての部分も兼ねています。

当初の予想の3倍の売上げが出るようになって、倉庫が足りない状態です。食料品もその他の物品も一緒に保管している状態であり、衛生面からしても食品倉庫を造ることは急務です。

休憩室についても、当初、会議室が空いているときに会議室を休憩室代わりに使っていましたが、会議室の使用率が増えて使えなくなりましたので、増設するものです。

市民への還元は、食のオープンスクールなどで皆さんに貢献していると考えています。

道の駅の使用料と指定管理委託料との差額を積立てていて、将来の大規模修繕などに充てる予定です。建設費は、22～23年で回収することになります。

(杉原会長) ありがとうございました。時間ですので、この辺でよろしいでしょうか。では、その他について、事務局から説明をお願いします。

6 その他

(事務局) 本日の会議録について、まとめ次第、郵送等において配布するので、郵送、FAX、電子メール等で意見をご報告ください。

委員の任期は平成26年11月までとなっているので、平成25年度も引き続き行政改革推進委員会への出席をお願いします。次回は8月に開催予定で、行政改革大綱実施計画の進捗状況の報告になります。時期が来ましたら通知を差し上げます。

また、この後、今年度実施した行政改革推進委員会の会議録について、原本を用意したので、回ごとに各委員の署名をいただきたいと思しますので、よろしくお願いします。

7 閉会

(杉原会長)

本日の日程はこれで終了いたします。長い間お疲れ様でした。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会長 杉原弘修

署名委員 関口博之

署名委員 志田良